



平成28年4月25日

各 位

会社名 株式会社ヨンドシーホールディングス  
代表者 代表取締役社長 鈴木 秀典  
(コード番号 8008 東証第一部)  
問合せ先 取締役執行役員財務担当 西村 政彦  
(TEL. 03-5719-3429)

(訂正) 「平成27年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成27年4月13日に開示いたしました「平成27年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 訂正の理由及び経緯

訂正の理由及び経緯につきましては、平成28年4月25日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

##### 2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)

4C holdings group



## 平成27年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヨンドシーホールディングス  
 コード番号 8008 URL http://www.yondoshi.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 秀典  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員業務担当 (氏名) 岩森 真彦 TEL 03-5719-3429  
 定時株主総会開催予定日 平成27年5月21日 配当支払開始予定日 平成27年5月22日  
 有価証券報告書提出予定日 平成27年5月22日  
 決算補足説明資料作成の有無: 有  
 決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期の連結業績(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期	50,726	3.5	5,467	11.5	6,186	9.6	3,612	13.4
26年2月期	49,003	1.6	4,906	14.4	5,642	15.5	3,183	14.2

(注) 包括利益 27年2月期 4,510百万円 (28.1%) 26年2月期 3,522百万円 (14.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
27年2月期	133.90	133.69	8.1	10.4	10.8
26年2月期	116.42	116.26	7.5	10.2	10.0

(参考) 持分法投資損益 27年2月期 463百万円 26年2月期 497百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期	60,577	45,418	74.9	1,707.15
26年2月期	58,086	43,743	75.3	1,595.14

(参考) 自己資本 27年2月期 45,374百万円 26年2月期 43,724百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年2月期	4,329	△1,184	△3,298	3,952
26年2月期	5,185	△2,389	△823	4,093

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
26年2月期	—	12.50	—	17.50	30.00	855	25.8	1.9
27年2月期	—	16.00	—	16.00	32.00	899	23.9	1.9
28年2月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		26.3	

### 3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,000	0.8	2,000	△11.5	2,300	△10.0	1,300	△15.5	48.19
通期	52,500	3.5	5,800	6.1	6,700	8.3	4,100	13.5	151.98

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期	29,331,356株	26年2月期	29,331,356株
② 期末自己株式数	27年2月期	2,752,078株	26年2月期	1,926,453株
③ 期中平均株式数	27年2月期	26,976,741株	26年2月期	27,347,827株

(注)1. 自己株式については、当連結会計年度末に4℃ホールディングスグループ従業員持株会信託口が所有する当社株式104,800株を含めて記載しております。

2. 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、18ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成27年2月期の個別業績（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期	1,990	20.5	1,428	31.2	1,381	28.9	1,131	24.9
26年2月期	1,651	8.4	1,088	11.4	1,071	12.6	906	13.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期	40.26	40.20
26年2月期	31.83	31.79

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
27年2月期	36,163	22,625	22,582	24,373	62.4	818.07	818.07	
26年2月期	36,790	24,392	22,582	24,373	66.2	854.29	854.29	

(参考) 自己資本 27年2月期 22,582百万円 26年2月期 24,373百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ以降をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 経営方針 .....	5
3. 連結財務諸表 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18
4. 個別財務諸表 .....	19
(1) 貸借対照表 .....	19
(2) 損益計算書 .....	21
(3) 株主資本等変動計算書 .....	22
5. その他 .....	24

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

## (1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、株価の堅調な推移や、円安による一部の企業における収益改善が見られたものの、物価の上昇に伴う実質賃金の低下や長引く個人消費の低迷等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

流通業界におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要があったものの、引き上げ後の節約志向の高まりにより消費の落ち込みが続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、第3次中期経営計画最終年度となる2014年度において、当社グループは信頼性の高い企業グループの構築に向けCSR経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することによって企業価値の向上に取り組んでまいりました。

(株)エフ・ディ・シー・プロダクツは、「4℃」(ヨンドシー)ジュエリーのブランド価値向上に向けた施策を継続するとともに、「4℃BRIDAL」(ヨンドシーブライダル)、「canal 4℃」(カナルヨンドシー)の計画的な出店拡大を進めてまいりました。

(株)アスティは、アパレルメーカー事業において、チャイナプラスアザーズによる生産背景の確立とODMビジネスの拡大に取り組みました。

(株)三鈴は、基幹ブランドを中心に企画提案力の強化等により既存店の活性化を図るとともに、不採算店舗を圧縮し、黒字化に向けて取り組みました。

(株)アージュは、主力のデイリーファッション事業「パレット」において、関西地区へのドミナント出店によるマーケットの拡大に取り組むとともに、納期の短縮と経費の削減を目的に関西へ物流拠点を新設いたしました。

その結果、当期の連結業績は、営業収益507億26百万円(前期比3.5%増)、営業利益54億67百万円(前期比11.5%増)、経常利益61億86百万円(前期比9.6%増)、当期純利益36億12百万円(前期比13.4%増)となりました。

なお、営業利益、当期純利益は3期連続、経常利益は4期連続で過去最高益を更新いたしました。

(注) 営業収益は、「売上高」と「その他の営業収入」の合計を記載しております。

## セグメント別の営業概況

## (エフ・ディ・シー・プロダクツグループ)

営業収益 285億37百万円 (前期比 8.6%増)

営業利益 49億80百万円 (前期比 13.9%増)

エフ・ディ・シー・プロダクツグループにおきましては、主力の「4℃」ジュエリーにおける新素材エターナルシルバーの展開やアイテム拡充への取り組みが奏功し、また、「4℃BRIDAL」、「canal 4℃」による積極的な出店拡大等もあり、営業収益、営業利益ともに過去最高を更新いたしました。

## (アスティグループ)

営業収益 87億87百万円 (前期比 3.5%減)

営業利益 4億22百万円 (前期比 24.3%減)

アスティグループにおきましては、アパレルメーカー事業における企画提案力の強化を継続するとともに、バングラデシュへの生産シフトによる利益率の改善に向け取り組みを開始いたしましたが、円安の影響等もあり、営業収益、営業利益ともに前期を下回りました。

## (三鈴)

営業収益 53億44百万円 (前期比 9.1%減)

営業利益 14百万円 (前期比 ー)

(株)三鈴におきましては、不採算店舗の圧縮を進めるとともに、既存店活性化に向けた販促活動の強化や経費削減に取り組んだことにより、営業収益は前期を下回りましたが、営業利益では黒字となりました。

(アージュ)

営業収益 80億57百万円 (前期比 4.1%増)

営業利益 86百万円 (前期比 46.3%減)

(株)アージュにおきましては、主力のデイリーファッション事業「パレット」の出店拡大により営業収益は前期を上回りましたが、会員制小売「ラポール」や、事業撤退を行った「LOU」(ルウ)の苦戦等により、営業利益は前期を下回りました。

## ・次期の見通し

今後のわが国経済は、経済対策の効果を背景とした企業収益の改善等による景気の緩やかな回復が続くものと期待されますが、海外景気の下ぶれ懸念等もあり、先行き不透明な状況が続くと思われれます。

流通業界におきましては、生活防衛からくる節約志向の継続等により個人消費の低迷が予測され、経営環境は厳しさを残しながら推移するものと思われれます。

このような状況のもと、当社は第4次中期経営計画をスタートさせ、「100年企業」、「100年ブランド」の実現に向けて「人材の育成」、「商品力の強化」、「マーケット動向の把握」に取り組むとともに、信頼性の高い企業グループの構築に向け、CSR経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することによって企業価値の向上に取り組んでまいります。

また、グループ横断的な課題に対して効果を出すためのシナジー体制を推進し、グループ戦略推進プロジェクトを運営してまいります。

## 事業ビジョン

- ①エフ・ディ・シー・プロダクツグループにおけるチャンネル戦略の推進とゾーンおよびアイテム拡大によるジュエリーSPA事業の更なる成長
- ②アスティグループにおけるアパレルメーカー事業の拡大とホールセール事業の再構築
- ③(株)三鈴におけるブランド集約によるアパレルSPA事業の再構築
- ④(株)アージュにおけるパレットの認知度向上によるデイリーファッション事業の拡大
- ⑤「4℃」ブランドの価値向上
- ⑥EC事業の成長
- ⑦海外小売事業戦略の推進

## 組織ビジョン

- ①グループシナジー体制の推進
- ②グループ人材育成の推進
- ③グループスタッフ機能の充実と強化
- ④グループ経営管理機能の強化
- ⑤ワーク・ライフ・バランスを意識した経営の推進

次期(平成28年2月期)の連結業績見通しにつきましては、営業収益525億円、営業利益58億円、経常利益67億円、当期純利益41億円と引き続き過去最高益の更新を見込んでおります。

## (2) 財政状態に関する分析

## ① 資産、負債及び純資産の状況

資産は605億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億91百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が43億81百万円及び現金及び預金が13億9百万円増加したものの、有価証券が28億50百万円減少したこと等によるものであります。

負債は151億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億17百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債が3億4百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は454億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億74百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が26億54百万円増加したこと等によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1億40百万円減少し、当連結会計年度末には39億52百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果、資金の増加は43億29百万円（前連結会計年度比8億55百万円減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益59億86百万円及び法人税等の支払額22億50百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果、資金の減少は11億84百万円（前連結会計年度比12億4百万円増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出15億90百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果、資金の減少は32億98百万円（前連結会計年度比24億74百万円減）となりました。これは主に、自己株式取得による支出20億83百万円及び配当金の支払額9億57百万円等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成24年2月期	平成25年2月期	平成26年2月期	平成27年2月期
自己資本比率（%）	75.7	76.9	75.3	74.9
時価ベースの自己資本比率（%）	42.1	51.7	74.3	88.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	0.2	0.3	0.2	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	143.9	231.1	1,851.9	2,524.96

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

※株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

※営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」によっております。

## (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、安定的・継続的な配当を基本としつつ、機動的に自社株買いを実施すること等により利益還元の水準向上を目指しております。

この方針に基づき、当期末の配当につきましては、1株当たり16円とさせていただきます。当中間期末の配当（1株当たり16円）と合わせまして、通期では32円とさせていただきます。次期の配当につきましては、中間、期末ともに20円の年間40円を予定しております。

その他に、株主優待制度を設けており、期末現在株主様を対象に、当社グループの「株主ご優待券」、「当社グループ商品」、そしてCSR型の優待として「日本水フォーラムへの寄付」の3つの中からいずれか1つをお選びいただくものとなっております。

また、今後の事業展開に備えてグループ収益力の向上と経営基盤の強化に努め、将来にわたり株主の皆様のご期待に応えてまいりたいと考えております。内部留保につきましては、一段と激化する企業間競争に耐えうる経営体質の強化と、新規市場の開拓、新ブランドの開発、M&A等の事業展開に備えてまいります。

## 2. 経営方針

### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは4つの経営理念を掲げ事業展開しております。

「私達は、お客様に信頼される企業を目指します。」

「私達は、社員に夢を与える企業を目指します。」

「私達は、社会に貢献できる企業を目指します。」

「私達は、株主に期待される企業を目指します。」

当グループは、4℃ブランドを中心としたグローバルファッション創造企業として、お客様の一步先のニーズに応える、お客様の生活文化を向上させる企業であり続けます。

そのために、人間尊重の基本理念のもと、変革を恐れず挑戦し続ける企業文化を大切にします。

すべては、お客様の“笑顔”や“ときめき”のために。

### (2) 目標とする経営指標

平成28年2月期を初年度とする第4次中期経営計画「挑戦と進化 Challenge and Evolution」では、グループ連結数値ビジョンとして連結売上高600億円以上、経常利益80億円以上、ROE10%以上を目標に掲げており、収益性の向上、投資効率、資金の有効活用等を実現するため、事業戦略を組み立て、諸施策を実施してまいります。

### (3) 中長期的な会社の経営戦略

3ページ「1. 経営成績(1) 経営成績に関する分析(次期の見通し)」に記載の通りであります。

### (4) 会社の対処すべき課題

当社グループは、市場の変化への対応力を強化するとともに、競争優位性を確立するために、以下の課題に取り組んでまいります。

#### ①エフ・ディ・シィ・プロダクツグループ

「4℃」ジュエリーのブランド価値向上を中心とした事業展開と新たなマーケットの拡大へ向けた施策の取り組みを通じて着実な成長を続け、更なる営業利益の拡大を目指します。

#### ②アスティグループ

アパレルメーカー事業の拡大とホールセール事業の再構築を推し進めることにより、安定した営業利益の確保に取り組めます。

#### ③三鈴

アパレルSPA事業の確立に向け、MD改革の推進、店舗運営力の強化を進め、営業利益の拡大に取り組めます。

#### ④アージュ

「パレット」の出店による関西ドミナントの深耕を進め、マーケットでの認知拡大を図り、営業利益の拡大に取り組めます。



3. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当連結会計年度 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	643,415	1,952,933
受取手形及び売掛金	2,952,219	3,451,619
有価証券	4,850,000	2,000,000
商品及び製品	6,819,273	7,383,018
仕掛品	728,965	871,733
原材料及び貯蔵品	678,745	723,203
繰延税金資産	618,437	482,082
前渡金	6,025	2,465
未収入金	73,666	142,460
その他	251,918	301,863
貸倒引当金	△4,233	△7,625
流動資産合計	17,618,434	17,303,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,485,560	5,546,145
土地	5,549,208	5,528,465
リース資産(純額)	187,635	285,754
建設仮勘定	34,600	389,900
その他(純額)	537,300	752,733
有形固定資産合計	11,794,305	12,502,999
無形固定資産		
のれん	6,206,310	5,709,806
リース資産	582,497	459,992
商標権	763	1,453
その他	77,554	103,920
無形固定資産合計	6,867,126	6,275,172
投資その他の資産		
投資有価証券	15,231,546	19,613,353
差入保証金	344,312	346,405
長期貸付金	22,576	22,268
繰延税金資産	406,543	374,736
投資不動産(純額)	750,917	745,032
前払年金費用	2,077,497	—
退職給付に係る資産	—	614,916
敷金	2,523,068	2,356,233
破産更生債権等	550,568	87,858
その他	480,131	451,856
貸倒引当金	△580,756	△116,688
投資その他の資産合計	21,806,406	24,495,972
固定資産合計	40,467,838	43,274,144
資産合計	58,086,272	60,577,900

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当連結会計年度 (平成27年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,515,638	4,170,142
短期借入金	—	48,310
リース債務	241,069	278,268
未払法人税等	1,366,588	1,399,367
賞与引当金	425,726	355,684
役員賞与引当金	44,250	41,946
その他	3,267,051	4,093,625
流動負債合計	9,860,324	10,387,344
固定負債		
長期借入金	150,930	—
リース債務	596,616	530,330
長期預り保証金	295,476	319,085
繰延税金負債	1,520,356	1,824,453
退職給付引当金	537,167	—
退職給付に係る負債	—	614,881
役員退職慰労引当金	339,728	385,296
資産除去債務	942,180	1,002,570
その他	99,493	95,727
固定負債合計	4,481,950	4,772,345
負債合計	14,342,274	15,159,689
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,486,520	2,486,520
資本剰余金	18,322,104	18,230,806
利益剰余金	23,978,284	26,633,216
自己株式	<u>△1,510,263</u>	<u>△3,284,842</u>
株主資本合計	43,276,646	44,065,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	648,982	1,481,757
繰延ヘッジ損益	△10,415	13,339
土地再評価差額金	△233,476	△233,476
為替換算調整勘定	42,838	85,054
退職給付に係る調整累計額	—	△37,476
その他の包括利益累計額合計	447,929	1,309,198
新株予約権	19,421	43,311
純資産合計	43,743,997	45,418,210
負債純資産合計	58,086,272	60,577,900

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)
売上高	48,140,315	49,868,310
売上原価	21,261,457	21,789,099
売上総利益	26,878,858	28,079,211
その他の営業収入	862,868	857,955
営業総利益	27,741,727	28,937,167
販売費及び一般管理費	22,835,642	23,469,265
営業利益	4,906,084	5,467,901
営業外収益		
受取利息	9,272	14,116
受取配当金	72,143	74,975
持分法による投資利益	<u>497,190</u>	<u>463,052</u>
投資不動産賃貸料	99,237	101,940
為替差益	23,178	31,483
その他	51,596	81,805
営業外収益合計	<u>752,619</u>	<u>767,373</u>
営業外費用		
支払利息	2,826	1,714
保険解約損	1,925	—
投資不動産減価償却費	6,101	5,968
投資不動産管理費用	2,063	2,046
自己株式取得費用	—	35,364
その他	2,940	3,951
営業外費用合計	15,857	49,046
経常利益	<u>5,642,847</u>	<u>6,186,229</u>
特別利益		
固定資産売却益	12,163	47,797
投資不動産売却益	21,974	—
ゴルフ会員権売却益	1,428	—
関係会社株式清算益	—	104,118
その他	—	750
特別利益合計	35,566	152,665
特別損失		
固定資産売却損	—	8,140
減損損失	239,675	291,939
店舗閉鎖損失	3,513	43,111
その他	—	8,880
特別損失合計	243,188	352,072
税金等調整前当期純利益	<u>5,435,225</u>	<u>5,986,822</u>
法人税、住民税及び事業税	1,957,454	2,262,588
法人税等調整額	293,808	112,133
法人税等合計	2,251,262	2,374,721
少数株主損益調整前当期純利益	<u>3,183,962</u>	<u>3,612,100</u>
少数株主損失(△)	△0	—
当期純利益	<u>3,183,963</u>	<u>3,612,100</u>

## (連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)
少数株主損益調整前当期純利益	<u>3,183,962</u>	<u>3,612,100</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	256,297	625,870
繰延ヘッジ損益	△25,323	23,599
為替換算調整勘定	68,077	42,216
持分法適用会社に対する持分相当額	<u>39,049</u>	<u>207,050</u>
その他の包括利益合計	<u>338,100</u>	<u>898,735</u>
包括利益	<u>3,522,062</u>	<u>4,510,836</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	<u>3,522,063</u>	<u>4,510,836</u>
少数株主に係る包括利益	△0	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自平成25年3月1日至平成26年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式				
				自己株式	自己株式 (従持信託所 有分)	自己株式 合計		
当期首残高	2,486,520	18,300,303	21,505,486	△1,469,684	△207,422	△1,677,107	40,615,203	
当期変動額								
剰余金の配当			△682,132				△682,132	
当期純利益			3,183,963				3,183,963	
連結子会社の変動に伴う利益剰余金の増加			2,002				2,002	
自己株式の取得				△554		△554	△554	
自己株式の処分		21,800		108,148		108,148	129,949	
土地再評価差額金の取崩			△31,036				△31,036	
自己株式の従持信託からの売却					59,250	59,250	59,250	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	21,800	2,472,797	107,594	59,250	166,844	2,661,442	
当期末残高	2,486,520	18,322,104	23,978,284	△1,362,090	△148,172	△1,510,263	43,276,646	

	その他の包括利益累計額						新株 予約権	少数株 主持分	純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額 金	繰延 ヘッジ損 益	土地再評 価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合 計			
当期首残高	352,468	16,070	△264,512	△25,239	—	78,787	19,195	1,171	40,714,357
当期変動額									
剰余金の配当									△682,132
当期純利益									3,183,963
連結子会社の変動に伴う利益剰余金の増加									2,002
自己株式の取得									△554
自己株式の処分									129,949
土地再評価差額金の取崩			31,036			31,036			—
自己株式の従持信託からの売却									59,250
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	296,514	△26,485	—	68,077	—	338,106	226	△1,171	368,197
当期変動額合計	296,514	△26,485	31,036	68,077	—	369,142	226	△1,171	3,029,640
当期末残高	648,982	△10,415	△233,476	42,838	—	447,929	19,421	—	43,743,997

当連結会計年度(自平成26年3月1日至平成27年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本						株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式			
				自己株式	自己株式 (従持信託所 有分)	自己株式 合計	
当期首残高	2,486,520	18,322,104	23,978,284	<u>△1,362,090</u>	△148,172	<u>△1,510,263</u>	<u>43,276,646</u>
当期変動額							
剰余金の配当			△957,168				△957,168
当期純利益			<u>3,612,100</u>				<u>3,612,100</u>
自己株式の取得				△2,083,827		△2,083,827	△2,083,827
自己株式の処分		12,395		56,599		56,599	68,995
持分法適用会社から の自己株式取得による 変動額		△107,794					△107,794
持分法適用会社が 保有する当社株式持分 の変動		<u>4,100</u>		<u>203,826</u>		<u>203,826</u>	<u>207,926</u>
自己株式の 従持信託からの売却					48,822	48,822	48,822
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	<u>△91,298</u>	<u>2,654,932</u>	<u>△1,823,401</u>	48,822	<u>△1,774,579</u>	<u>789,054</u>
当期末残高	2,486,520	<u>18,230,806</u>	<u>26,633,216</u>	△3,185,492	△99,350	△3,284,842	<u>44,065,700</u>

	その他の包括利益累計額						新株 予約権	純資産 合計
	その他 有価証券評価 差額金	繰延 ヘッジ損益	土地再評 価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整累 計額	その他の 包括利益累計 額合計		
当期首残高	<u>648,982</u>	△10,415	△233,476	42,838	—	<u>447,929</u>	19,421	<u>43,743,997</u>
当期変動額								
剰余金の配当								△957,168
当期純利益								<u>3,612,100</u>
自己株式の取得								△2,083,827
自己株式の処分								68,995
持分法適用会社から の自己株式取得による 変動額								△107,794
持分法適用会社が 保有する当社株式持分 の変動								<u>207,926</u>
自己株式の 従持信託からの売却								48,822
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	<u>832,774</u>	23,754	—	42,216	△37,476	<u>861,268</u>	23,889	<u>885,158</u>
当期変動額合計	<u>832,774</u>	23,754	—	42,216	△37,476	<u>861,268</u>	23,889	<u>1,674,212</u>
当期末残高	<u>1,481,757</u>	13,339	△233,476	85,054	△37,476	<u>1,309,198</u>	43,311	<u>45,418,210</u>

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,435,225	5,986,822
減価償却費	1,026,676	1,135,407
減損損失	239,675	291,939
のれん償却額	520,643	496,504
貸倒引当金の増減額(△は減少)	679	△460,675
賞与引当金の増減額(△は減少)	△127,350	△70,041
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△83,629	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	1,502,819
その他の引当金の増減額(△は減少)	△56,074	43,264
受取利息及び受取配当金	△81,416	△89,091
支払利息	2,826	1,714
持分法による投資損益(△は益)	△497,190	△463,052
為替差損益(△は益)	△4,355	△2,022
固定資産売却損益(△は益)	△12,163	△39,657
投資不動産売却損益(△は益)	△21,974	—
関係会社株式清算損益(△は益)	—	△104,118
売上債権の増減額(△は増加)	201,159	△497,679
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,457,010	△741,862
仕入債務の増減額(△は減少)	705,260	△348,193
未払消費税等の増減額(△は減少)	52,295	344,900
前受金の増減額(△は減少)	500,753	△151,839
その他の資産の増減額(△は増加)	150,267	△69,996
その他の負債の増減額(△は減少)	△58,569	△387,319
小計	6,435,728	6,377,821
利息及び配当金の受取額	190,181	204,415
利息の支払額	△2,799	△1,714
法人税等の支払額	△1,437,902	△2,250,920
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,185,207	4,329,603

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,048,529	△1,590,069
有形固定資産の売却による収入	128,560	62,000
無形固定資産の取得による支出	△19,089	△53,944
有価証券の取得による支出	△1,400,000	△500,000
有価証券の償還による収入	—	1,900,000
投資有価証券の取得による支出	△17,077	△1,216,996
投資不動産の売却による収入	63,361	—
長期貸付けによる支出	△9,753	△7,774
長期貸付金の回収による収入	15,459	8,083
長期前払費用の取得による支出	△70,773	△46,044
関係会社株式の清算による収入	—	104,118
その他の支出	△388,201	△241,595
その他の収入	356,743	397,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,389,299	△1,184,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△92,230	△102,620
自己株式の取得による支出	△554	△2,083,827
自己株式の売却による収入	114,975	62,985
配当金の支払額	△687,001	△957,168
その他の支出	△159,113	△217,816
財務活動によるキャッシュ・フロー	△823,924	△3,298,446
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,662	13,114
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,981,646	△140,482
現金及び現金同等物の期首残高	2,111,769	4,093,415
現金及び現金同等物の期末残高	4,093,415	3,952,933



(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を当連結会計年度末より適用し(ただし、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めを除く。)、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る資産及び退職給付に係る負債として計上する方法に変更し、未認識数理計算上の差異を退職給付に係る資産及び退職給付に係る負債に計上しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度末において、当該変更に伴う影響額をその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に加減しております。

この結果、当連結会計年度末において、退職給付に係る資産が614,916千円、退職給付に係る負債が614,881千円計上されるとともにその他の包括利益累計額が37,476千円減少しております。

なお、1株当たり純資産額に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、(株)エフ・ディ・シー・プロダクツ、(株)アスティ、(株)三鈴及び(株)アージュの4事業会社を軸とする総合ファッション企業として事業活動を展開しております。

当社グループは連結子会社を基礎とした事業別セグメントから構成されており、「エフ・ディ・シー・プロダクツグループ」、「アスティグループ」、「三鈴」及び「アージュ」の4事業を報告セグメントとしております。

「エフ・ディ・シー・プロダクツグループ」では、「4℃」ジュエリーを中心としたブランドSPA事業を行っております。

「アスティグループ」では、主にODMを中心としたアパレルメーカー事業、ホールセール事業及びディベロッパー事業を行っております。

「三鈴」では、アパレルSPA事業を行っております。

「アージュ」では、西日本を中心としてファッション分野でリテール事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自平成25年3月1日至平成26年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	エフ・ディ・シー・ プロダクツグループ	アステイ グループ	三鈴	アージュ	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	26,277,261	9,107,549	5,881,097	7,737,277	49,003,184	—	49,003,184
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	43,084	1,445,808	24,225	240,299	1,753,417	△1,753,417	—
計	26,320,345	10,553,357	5,905,322	7,977,577	50,756,602	△1,753,417	49,003,184
セグメント利益 又は損失(△)	4,374,877	557,846	△69,225	160,497	5,023,995	△117,910	4,906,084
セグメント資産	25,170,216	18,988,089	2,267,796	2,561,697	48,987,799	<u>9,098,472</u>	<u>58,086,272</u>
その他の項目							
減価償却費	544,470	245,310	146,572	57,963	994,315	26,256	1,020,572
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	821,790	130,960	160,951	22,283	1,135,986	795	1,136,781

(注)1 (1) セグメント利益の調整額△117,910千円には、のれん償却額△520,643千円、報告セグメントに帰属しない一般管理費△589,094千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額9,098,472千円のうち、その主なものは、全社資産5,774,496千円及びのれんの未償却残高6,206,310千円であります。なお、主に余資運用資金(現金及び預金)等の資産であります。

(3) 減価償却費の調整額26,256千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額795千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自平成26年3月1日至平成27年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	エフ・ディ・シー・ プロダクツグループ	アステイ グループ	三鈴	アージュ	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	28,537,113	8,787,244	5,344,775	8,057,133	50,726,266	—	50,726,266
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	50,330	1,657,587	20,521	285,728	2,014,167	△2,014,167	—
計	28,587,444	10,444,831	5,365,296	8,342,861	52,740,434	△2,014,167	50,726,266
セグメント利益	4,980,999	422,436	14,059	86,150	5,503,646	△35,744	5,467,901
セグメント資産	27,873,136	20,132,567	2,228,395	2,505,023	52,739,123	<u>7,838,776</u>	<u>60,577,900</u>
その他の項目							
減価償却費	651,483	249,692	119,285	81,056	1,101,518	27,828	1,129,346
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,209,843	415,061	26,390	24,966	1,676,261	—	1,676,261

(注)1 (1) セグメント利益の調整額△35,744千円には、のれん償却額△496,504千円、報告セグメントに帰属しない一般管理費△598,882千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額7,838,776千円のうち、その主なものは、全社資産4,357,769千円及びのれんの未償却残高5,709,806千円であります。なお、主に余資運用資金(現金及び預金)等の資産であります。

(3) 減価償却費の調整額27,828千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への営業収益が連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略していません。

当連結会計年度(自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への営業収益が連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略していません。

## (報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自平成25年3月1日至平成26年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	合計
	エフ・ディ・シー・プロダクツグループ	アスティグループ	三鈴	アージュ	計		
減損損失	115,048	9,809	69,301	45,516	239,675	-	239,675

当連結会計年度(自平成26年3月1日至平成27年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	合計
	エフ・ディ・シー・プロダクツグループ	アスティグループ	三鈴	アージュ	計		
減損損失	236,048	6,453	42,498	6,939	291,939	-	291,939

## (報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自平成25年3月1日至平成26年2月28日)

報告セグメントに配分されたのれんの償却額及び未償却残高はありません。報告セグメントに配分されていないのれんの償却額は、520,643千円、未償却残高は6,206,310千円であります。当該償却額及び未償却残高は、株式交換により生じたのれんに係るものであります。

当連結会計年度(自平成26年3月1日至平成27年2月28日)

報告セグメントに配分されたのれんの償却額及び未償却残高はありません。報告セグメントに配分されていないのれんの償却額は、496,504千円、未償却残高は5,709,806千円であります。当該償却額及び未償却残高は、株式交換により生じたのれんに係るものであります。

## (報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自平成25年3月1日至平成26年2月28日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自平成26年3月1日至平成27年2月28日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)
1株当たり純資産額	1,595.14円	1,707.15円
1株当たり当期純利益金額	116.42円	133.90円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	116.26円	133.69円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	3,183,963	3,612,100
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	3,183,963	3,612,100
普通株式の期中平均株式数(株)	27,347,827	26,976,741
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	38,012	42,236
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	平成25年6月12日 取締役会決議 第5回新株予約権 普通株式 118,400株	平成25年7月24日 取締役会決議 第6回新株予約権 普通株式 36,700株 平成26年7月24日 取締役会決議 第7回新株予約権 普通株式 24,800株

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当連結会計年度 (平成27年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	43,743,997	45,418,210
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	19,421	43,311
(うち新株予約権(千円))	(19,421)	(43,311)
(うち少数株主持分(千円))	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	43,724,575	45,374,899
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	27,411,068	26,579,278

4 従持信託が所有する当社株式については、連結財務諸表において自己株式として認識しております。このため、上記の1株当たり純資産額の算定に用いられた連結会計年度末の普通株式数及び1株当たり当期純利益金額の算定に用いられた連結会計年度の期中平均株式数は、当該株式が控除されております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表  
 (1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当事業年度 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	234,823	1,539,159
有価証券	4,850,000	2,000,000
繰延税金資産	13,530	14,493
関係会社短期貸付金	1,336,672	1,024,870
未収入金	109,057	145,840
その他	6,484	7,541
流動資産合計	6,550,568	4,731,905
固定資産		
有形固定資産		
建物	681	567
工具、器具及び備品	619	368
リース資産	3,600	900
有形固定資産合計	4,901	1,836
無形固定資産		
ソフトウェア	190	114
リース資産	75,032	50,344
無形固定資産合計	75,222	50,458
投資その他の資産		
投資有価証券	655,382	1,856,518
関係会社株式	29,204,180	29,204,180
関係会社出資金	172,716	75,190
関係会社長期貸付金	81,520	166,964
従業員に対する長期貸付金	—	694
繰延税金資産	29,629	70,250
その他	16,433	5,876
投資その他の資産合計	30,159,861	31,379,674
固定資産合計	30,239,984	31,431,968
資産合計	36,790,553	36,163,873

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当事業年度 (平成27年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	11,950,438	13,132,793
1年内返済予定の長期借入金	—	48,310
リース債務	28,791	27,093
未払金	36,344	70,732
未払費用	11,270	9,193
未払法人税等	46,601	60,165
賞与引当金	13,670	11,900
役員賞与引当金	13,150	14,500
その他	8,970	35,270
流動負債合計	12,109,237	13,409,957
固定負債		
長期借入金	150,930	—
リース債務	54,359	27,265
退職給付引当金	3,155	3,329
役員退職慰労引当金	80,100	97,400
固定負債合計	288,544	127,994
負債合計	12,397,781	13,537,952
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,486,520	2,486,520
資本剰余金		
資本準備金	14,838,777	14,838,777
その他資本剰余金	21,800	34,196
資本剰余金合計	14,860,578	14,872,973
利益剰余金		
利益準備金	417,300	417,300
その他利益剰余金		
別途積立金	6,794,500	6,794,500
繰越利益剰余金	511,563	686,102
利益剰余金合計	7,723,363	7,897,902
自己株式	△697,210	△2,675,616
株主資本合計	24,373,251	22,581,780
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	98	829
評価・換算差額等合計	98	829
新株予約権	19,421	43,311
純資産合計	24,392,771	22,625,921
負債純資産合計	36,790,553	36,163,873

## (2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	当事業年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)
営業収益	1,651,880	1,990,125
営業総利益	1,651,880	1,990,125
販売費及び一般管理費	562,926	561,728
営業利益	1,088,954	1,428,396
営業外収益		
受取利息	15,255	19,431
受取配当金	56	74
為替差益	7,264	15,112
未払配当金除斥益	1,734	1,632
その他	385	608
営業外収益合計	24,695	36,858
営業外費用		
支払利息	42,290	48,688
自己株式取得費用	—	35,364
その他	231	—
営業外費用合計	42,521	84,052
経常利益	1,071,127	1,381,202
特別損失		
関係会社出資金評価損	—	97,525
特別損失合計	—	97,525
税引前当期純利益	1,071,127	1,283,677
法人税、住民税及び事業税	153,400	193,957
法人税等調整額	11,389	△41,988
法人税等合計	164,790	151,969
当期純利益	906,337	1,131,708



## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,486,520	14,838,777	—	14,838,777	417,300	6,794,500	287,358	7,499,158
当期変動額								
剰余金の配当							△682,132	△682,132
当期純利益							906,337	906,337
自己株式の取得								
自己株式の処分			21,800	21,800				
自己株式の従持信託からの売却								
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	21,800	21,800	—	—	224,204	224,204
当期末残高	2,486,520	14,838,777	21,800	14,860,578	417,300	6,794,500	511,563	7,723,363

	株主資本				評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式			株主資本 合計	その他 有価証券評 価差額金	評価・換算 差額等合計		
	自己株式	自己株式 (従持信託 所有分)	自己株式 合計					
当期首残高	△656,644	△207,422	△864,066	23,960,389	△218	△218	19,195	23,979,365
当期変動額								
剰余金の配当				△682,132				△682,132
当期純利益				906,337				906,337
自己株式の取得	△554		△554	△554				△554
自己株式の処分	108,160		108,160	129,961				129,961
自己株式の従持信託からの売却		59,250	59,250	59,250				59,250
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					317	317	226	544
当期変動額合計	107,605	59,250	166,855	412,861	317	317	226	413,405
当期末残高	△549,038	△148,172	△697,210	24,373,251	98	98	19,421	24,392,771

当事業年度(自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
						別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	2,486,520	14,838,777	21,800	14,860,578	417,300	6,794,500	511,563	7,723,363
当期変動額								
剰余金の配当							△957,168	△957,168
当期純利益							1,131,708	1,131,708
自己株式の取得								
自己株式の処分			12,395	12,395				
自己株式の 従持信託からの売却								
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	12,395	12,395	—	—	174,539	174,539
当期末残高	2,486,520	14,838,777	34,196	14,872,973	417,300	6,794,500	686,102	7,897,902

	株主資本				評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式			株主資本 合計	その他 有価証券評 価差額金	評価・換算 差額等合計		
	自己株式	自己株式 (従持信託 所有分)	自己株式 合計					
当期首残高	△549,038	△148,172	△697,210	24,373,251	98	98	19,421	24,392,771
当期変動額								
剰余金の配当				△957,168				△957,168
当期純利益				1,131,708				1,131,708
自己株式の取得	△2,083,827		△2,083,827	△2,083,827				△2,083,827
自己株式の処分	56,599		56,599	68,995				68,995
自己株式の 従持信託からの売却		48,822	48,822	48,822				48,822
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					731	731	23,889	24,620
当期変動額合計	△2,027,227	48,822	△1,978,405	△1,791,470	731	731	23,889	△1,766,849
当期末残高	△2,576,265	△99,350	△2,675,616	22,581,780	829	829	43,311	22,625,921

5. その他

(1) 役員の変動

①代表者の変動

該当事項はありません

②監査等委員会設置会社への移行に伴う役員の変動

当社は、平成27年5月21日開催予定の第65回定時株主総会での定款一部変更の承認可決を前提として、監査等委員会設置会社に移行に伴う役員候補者の構成は以下のとおりとなる予定です。

・取締役(監査等委員であるものを除く。)候補者

木村 祭氏 (現 代表取締役会長)  
鈴木 秀典 (現 代表取締役社長)  
宮本 聡 (現 常務取締役執行役員アスティ担当)  
瀧口 昭弘 (現 常務取締役執行役員エフ・ディ・シー・プロダクツ担当)  
岩森 真彦 (現 常務取締役執行役員業務担当兼務経営企画部長)  
久留米 俊文 (現 取締役執行役員エフ・ディ・シー・プロダクツ担当営業部長)  
西村 政彦 (現 取締役執行役員財務担当兼務財務部長)  
細田 信行 (現 取締役相談役)

・監査等委員である取締役候補者

田坂 英二 (現 当社監査役)  
上村 信彦 (現 当社社外監査役)  
藤森 友明 (現 当社社外監査役)  
神垣 清水 (現 弁護士)

(注) 上村信彦、藤森友明、神垣清水の3氏は社外取締役候補であります。

(訂正前)



## 平成27年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年4月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヨンドシーホールディングス  
 コード番号 8008 URL http://www.yondoshi.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 秀典  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員業務担当 (氏名) 岩森 真彦 TEL 03-5719-3429  
 定時株主総会開催予定日 平成27年5月21日 配当支払開始予定日 平成27年5月22日  
 有価証券報告書提出予定日 平成27年5月22日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期の連結業績（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期	50,726	3.5	5,467	11.5	6,216	10.2	3,642	14.4
26年2月期	49,003	1.6	4,906	14.4	5,642	15.5	3,183	14.3

(注) 包括利益 27年2月期 4,541百万円 (28.9%) 26年2月期 3,522百万円 (14.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
27年2月期	134.99	134.78	8.1	10.4	10.8
26年2月期	116.40	116.24	7.5	10.1	10.0

(参考) 持分法投資損益 27年2月期 493百万円 26年2月期 497百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期	60,990	45,830	75.1	1,722.67
26年2月期	58,478	44,136	75.4	1,609.45

(参考) 自己資本 27年2月期 45,787百万円 26年2月期 44,116百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年2月期	4,329	△1,184	△3,298	3,952
26年2月期	5,185	△2,389	△823	4,093

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
26年2月期	—	12.50	—	17.50	30.00	855	25.8	1.9
27年2月期	—	16.00	—	16.00	32.00	899	23.7	1.9
28年2月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		26.3	

### 3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,000	0.8	2,000	△11.5	2,300	△10.1	1,300	△15.7	48.18
通期	52,500	3.5	5,800	6.1	6,700	7.8	4,100	12.6	151.95

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：有  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期	29,331,356株	26年2月期	29,331,356株
② 期末自己株式数	27年2月期	2,752,078株	26年2月期	1,920,288株
③ 期中平均株式数	27年2月期	26,982,906株	26年2月期	27,353,992株

(注)1. 自己株式については、当連結会計年度末に4℃ホールディングスグループ従業員持株会信託口が所有する当社株式104,800株を含めて記載しております。

2. 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、18ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成27年2月期の個別業績（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期	1,990	20.5	1,428	31.2	1,381	28.9	1,131	24.9
26年2月期	1,651	8.4	1,088	11.4	1,071	12.6	906	13.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期	40.26	40.20
26年2月期	31.83	31.79

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
27年2月期	36,163		22,625		62.4		818.07	
26年2月期	36,790		24,392		66.2		854.29	

(参考) 自己資本 27年2月期 22,582百万円 26年2月期 24,373百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ以降をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 経営方針 .....	5
3. 連結財務諸表 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18
4. 個別財務諸表 .....	19
(1) 貸借対照表 .....	19
(2) 損益計算書 .....	21
(3) 株主資本等変動計算書 .....	22
5. その他 .....	24

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

## (1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、株価の堅調な推移や、円安による一部の企業における収益改善が見られたものの、物価の上昇に伴う実質賃金の低下や長引く個人消費の低迷等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

流通業界におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要があったものの、引き上げ後の節約志向の高まりにより消費の落ち込みが続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、第3次中期経営計画最終年度となる2014年度において、当社グループは信頼性の高い企業グループの構築に向けCSR経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することによって企業価値の向上に取り組んでまいりました。

(株)エフ・ディ・シー・プロダクツは、「4℃」(ヨンドシー)ジュエリーのブランド価値向上に向けた施策を継続するとともに、「4℃BRIDAL」(ヨンドシーブライダル)、「canal 4℃」(カナルヨンドシー)の計画的な出店拡大を進めてまいりました。

(株)アスティは、アパレルメーカー事業において、チャイナプラスアザーズによる生産背景の確立とODMビジネスの拡大に取り組みました。

(株)三鈴は、基幹ブランドを中心に企画提案力の強化等により既存店の活性化を図るとともに、不採算店舗を圧縮し、黒字化に向けて取り組みました。

(株)アージュは、主力のデイリーファッション事業「パレット」において、関西地区へのドミナント出店によるマーケットの拡大に取り組むとともに、納期の短縮と経費の削減を目的に関西へ物流拠点を新設いたしました。

その結果、当期の連結業績は、営業収益507億26百万円(前期比3.5%増)、営業利益54億67百万円(前期比11.5%増)、経常利益62億16百万円(前期比10.2%増)、当期純利益36億42百万円(前期比14.4%増)となりました。

なお、営業利益、当期純利益は3期連続、経常利益は4期連続で過去最高益を更新いたしました。

(注) 営業収益は、「売上高」と「その他の営業収入」の合計を記載しております。

## セグメント別の営業概況

## (エフ・ディ・シー・プロダクツグループ)

営業収益 285億37百万円 (前期比 8.6%増)

営業利益 49億80百万円 (前期比 13.9%増)

エフ・ディ・シー・プロダクツグループにおきましては、主力の「4℃」ジュエリーにおける新素材エターナルシルバーの展開やアイテム拡充への取り組みが奏功し、また、「4℃BRIDAL」、「canal 4℃」による積極的な出店拡大等もあり、営業収益、営業利益ともに過去最高を更新いたしました。

## (アスティグループ)

営業収益 87億87百万円 (前期比 3.5%減)

営業利益 4億22百万円 (前期比 24.3%減)

アスティグループにおきましては、アパレルメーカー事業における企画提案力の強化を継続するとともに、バングラデシュへの生産シフトによる利益率の改善に向け取り組みを開始いたしました。また、円安の影響等もあり、営業収益、営業利益ともに前期を下回りました。

## (三鈴)

営業収益 53億44百万円 (前期比 9.1%減)

営業利益 14百万円 (前期比 ー)

(株)三鈴におきましては、不採算店舗の圧縮を進めるとともに、既存店活性化に向けた販促活動の強化や経費削減に取り組んだことにより、営業収益は前期を下回りましたが、営業利益では黒字となりました。

(アージュ)

営業収益 80億57百万円 (前期比 4.1%増)

営業利益 86百万円 (前期比 46.3%減)

(株)アージュにおきましては、主力のデイリーファッション事業「パレット」の出店拡大により営業収益は前期を上回りましたが、会員制小売「ラポール」や、事業撤退を行った「LOU」(ルウ)の苦戦等により、営業利益は前期を下回りました。

## ・次期の見通し

今後のわが国経済は、経済対策の効果を背景とした企業収益の改善等による景気の緩やかな回復が続くものと期待されますが、海外景気の下ぶれ懸念等もあり、先行き不透明な状況が続くと思われれます。

流通業界におきましては、生活防衛からくる節約志向の継続等により個人消費の低迷が予測され、経営環境は厳しさを残しながら推移するものと思われれます。

このような状況のもと、当社は第4次中期経営計画をスタートさせ、「100年企業」、「100年ブランド」の実現に向けて「人材の育成」、「商品力の強化」、「マーケット動向の把握」に取り組むとともに、信頼性の高い企業グループの構築に向け、CSR経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することによって企業価値の向上に取り組んでまいります。

また、グループ横断的な課題に対して効果を出すためのシナジー体制を推進し、グループ戦略推進プロジェクトを運営してまいります。

## 事業ビジョン

- ①エフ・ディ・シー・プロダクツグループにおけるチャンネル戦略の推進とゾーンおよびアイテム拡大によるジュエリーSPA事業の更なる成長
- ②アスティグループにおけるアパレルメーカー事業の拡大とホールセール事業の再構築
- ③(株)三鈴におけるブランド集約によるアパレルSPA事業の再構築
- ④(株)アージュにおけるパレットの認知度向上によるデイリーファッション事業の拡大
- ⑤「4℃」ブランドの価値向上
- ⑥EC事業の成長
- ⑦海外小売事業戦略の推進

## 組織ビジョン

- ①グループシナジー体制の推進
- ②グループ人材育成の推進
- ③グループスタッフ機能の充実と強化
- ④グループ経営管理機能の強化
- ⑤ワーク・ライフ・バランスを意識した経営の推進

次期(平成28年2月期)の連結業績見通しにつきましては、営業収益525億円、営業利益58億円、経常利益67億円、当期純利益41億円と引き続き過去最高益の更新を見込んでおります。



## (2) 財政状態に関する分析

## ① 資産、負債及び純資産の状況

資産は609億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億11百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が44億1百万円及び現金及び預金が13億9百万円増加したものの、有価証券が28億50百万円減少したこと等によるものであります。

負債は151億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億17百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債が3億4百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は458億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億94百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が26億85百万円増加したこと等によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ1億40百万円減少し、当連結会計年度末には39億52百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果、資金の増加は43億29百万円(前連結会計年度比8億55百万円減)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益60億17百万円及び法人税等の支払額22億50百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果、資金の減少は11億84百万円(前連結会計年度比12億4百万円増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出15億90百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果、資金の減少は32億98百万円(前連結会計年度比24億74百万円減)となりました。これは主に、自己株式取得による支出20億83百万円及び配当金の支払額9億57百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成24年2月期	平成25年2月期	平成26年2月期	平成27年2月期
自己資本比率(%)	75.9	77.1	75.4	75.1
時価ベースの自己資本比率(%)	41.9	51.3	73.8	87.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.2	0.3	0.2	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	143.9	231.1	1,851.9	2,524.96

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

※株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

※営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」によっております。

## (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、安定的・継続的な配当を基本としつつ、機動的に自社株買いを実施すること等により利益還元の水準向上を目指しております。

この方針に基づき、当期末の配当につきましては、1株当たり16円とさせていただきます。当中間期末の配当(1株当たり16円)と合わせまして、通期では32円とさせていただきます。次期の配当につきましては、中間、期末ともに20円の年間40円を予定しております。

その他に、株主優待制度を設けており、期末現在株主様を対象に、当社グループの「株主ご優待券」、「当社グループ商品」、そしてCSR型の優待として「日本水フォーラムへの寄付」の3つの中からいずれか1つをお選びいただくものとなっております。

また、今後の事業展開に備えてグループ収益力の向上と経営基盤の強化に努め、将来にわたり株主の皆様のご期待に応えてまいりたいと考えております。内部留保につきましては、一段と激化する企業間競争に耐えうる経営体質の強化と、新規市場の開拓、新ブランドの開発、M&A等の事業展開に備えてまいります。

## 2. 経営方針

### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは4つの経営理念を掲げ事業展開しております。

「私達は、お客様に信頼される企業を目指します。」

「私達は、社員に夢を与える企業を目指します。」

「私達は、社会に貢献できる企業を目指します。」

「私達は、株主に期待される企業を目指します。」

当グループは、4℃ブランドを中心としたグローバルファッション創造企業として、お客様の一步先のニーズに応える、お客様の生活文化を向上させる企業であり続けます。

そのために、人間尊重の基本理念のもと、変革を恐れず挑戦し続ける企業文化を大切にします。

すべては、お客様の“笑顔”や“ときめき”のために。

### (2) 目標とする経営指標

平成28年2月期を初年度とする第4次中期経営計画「挑戦と進化 Challenge and Evolution」では、グループ連結数値ビジョンとして連結売上高600億円以上、経常利益80億円以上、ROE10%以上を目標に掲げており、収益性の向上、投資効率、資金の有効活用等を実現するため、事業戦略を組み立て、諸施策を実施してまいります。

### (3) 中長期的な会社の経営戦略

3ページ「1. 経営成績(1) 経営成績に関する分析(次期の見通し)」に記載の通りであります。

### (4) 会社の対処すべき課題

当社グループは、市場の変化への対応力を強化するとともに、競争優位性を確立するために、以下の課題に取り組んでまいります。

#### ①エフ・ディ・シィ・プロダクツグループ

「4℃」ジュエリーのブランド価値向上を中心とした事業展開と新たなマーケットの拡大へ向けた施策の取り組みを通じて着実な成長を続け、更なる営業利益の拡大を目指します。

#### ②アスティグループ

アパレルメーカー事業の拡大とホールセール事業の再構築を推し進めることにより、安定した営業利益の確保に取り組めます。

#### ③三鈴

アパレルSPA事業の確立に向け、MD改革の推進、店舗運営力の強化を進め、営業利益の拡大に取り組めます。

#### ④アージュ

「パレット」の出店による関西ドミナントの深耕を進め、マーケットでの認知拡大を図り、営業利益の拡大に取り組めます。

3. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当連結会計年度 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	643,415	1,952,933
受取手形及び売掛金	2,952,219	3,451,619
有価証券	4,850,000	2,000,000
商品及び製品	6,819,273	7,383,018
仕掛品	728,965	871,733
原材料及び貯蔵品	678,745	723,203
繰延税金資産	618,437	482,082
前渡金	6,025	2,465
未収入金	73,666	142,460
その他	251,918	301,863
貸倒引当金	△4,233	△7,625
流動資産合計	17,618,434	17,303,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,485,560	5,546,145
土地	5,549,208	5,528,465
リース資産(純額)	187,635	285,754
建設仮勘定	34,600	389,900
その他(純額)	537,300	752,733
有形固定資産合計	11,794,305	12,502,999
無形固定資産		
のれん	6,206,310	5,709,806
リース資産	582,497	459,992
商標権	763	1,453
その他	77,554	103,920
無形固定資産合計	6,867,126	6,275,172
投資その他の資産		
投資有価証券	15,623,836	20,025,792
差入保証金	344,312	346,405
長期貸付金	22,576	22,268
繰延税金資産	406,543	374,736
投資不動産(純額)	750,917	745,032
前払年金費用	2,077,497	—
退職給付に係る資産	—	614,916
敷金	2,523,068	2,356,233
破産更生債権等	550,568	87,858
その他	480,131	451,856
貸倒引当金	△580,756	△116,688
投資その他の資産合計	22,198,696	24,908,410
固定資産合計	40,860,128	43,686,583
資産合計	58,478,562	60,990,338

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当連結会計年度 (平成27年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,515,638	4,170,142
短期借入金	—	48,310
リース債務	241,069	278,268
未払法人税等	1,366,588	1,399,367
賞与引当金	425,726	355,684
役員賞与引当金	44,250	41,946
その他	3,267,051	4,093,625
流動負債合計	9,860,324	10,387,344
固定負債		
長期借入金	150,930	—
リース債務	596,616	530,330
長期預り保証金	295,476	319,085
繰延税金負債	1,520,356	1,824,453
退職給付引当金	537,167	—
退職給付に係る負債	—	614,881
役員退職慰労引当金	339,728	385,296
資産除去債務	942,180	1,002,570
その他	99,493	95,727
固定負債合計	4,481,950	4,772,345
負債合計	14,342,274	15,159,689
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,486,520	2,486,520
資本剰余金	18,322,104	18,226,705
利益剰余金	24,364,402	27,049,761
自己株式	△1,504,089	△3,284,842
株主資本合計	43,668,937	44,478,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	648,981	1,481,751
繰延ヘッジ損益	△10,415	13,339
土地再評価差額金	△233,476	△233,476
為替換算調整勘定	42,838	85,054
退職給付に係る調整累計額	—	△37,476
その他の包括利益累計額合計	447,928	1,309,192
新株予約権	19,421	43,311
純資産合計	44,136,288	45,830,648
負債純資産合計	58,478,562	60,990,338

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)
売上高	48,140,315	49,868,310
売上原価	21,261,457	21,789,099
売上総利益	26,878,858	28,079,211
その他の営業収入	862,868	857,955
営業総利益	27,741,727	28,937,167
販売費及び一般管理費	22,835,642	23,469,265
営業利益	4,906,084	5,467,901
営業外収益		
受取利息	9,272	14,116
受取配当金	72,143	74,975
持分法による投資利益	<u>497,201</u>	<u>493,479</u>
投資不動産賃貸料	99,237	101,940
為替差益	23,178	31,483
その他	51,596	81,805
営業外収益合計	<u>752,630</u>	<u>797,801</u>
営業外費用		
支払利息	2,826	1,714
保険解約損	1,925	—
投資不動産減価償却費	6,101	5,968
投資不動産管理費用	2,063	2,046
自己株式取得費用	—	35,364
その他	2,940	3,951
営業外費用合計	15,857	49,046
経常利益	<u>5,642,858</u>	<u>6,216,656</u>
特別利益		
固定資産売却益	12,163	47,797
投資不動産売却益	21,974	—
ゴルフ会員権売却益	1,428	—
関係会社株式清算益	—	104,118
その他	—	750
特別利益合計	35,566	152,665
特別損失		
固定資産売却損	—	8,140
減損損失	239,675	291,939
店舗閉鎖損失	3,513	43,111
その他	—	8,880
特別損失合計	243,188	352,072
税金等調整前当期純利益	<u>5,435,236</u>	<u>6,017,250</u>
法人税、住民税及び事業税	1,957,454	2,262,588
法人税等調整額	293,808	112,133
法人税等合計	2,251,262	2,374,721
少数株主損益調整前当期純利益	<u>3,183,973</u>	<u>3,642,528</u>
少数株主損失(△)	△0	—
当期純利益	<u>3,183,974</u>	<u>3,642,528</u>

## (連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)
少数株主損益調整前当期純利益	<u>3,183,973</u>	<u>3,642,528</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	256,297	625,870
繰延ヘッジ損益	△25,323	23,599
為替換算調整勘定	68,077	42,216
持分法適用会社に対する持分相当額	<u>39,052</u>	<u>207,054</u>
その他の包括利益合計	<u>338,103</u>	<u>898,740</u>
包括利益	<u>3,522,077</u>	<u>4,541,268</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	<u>3,522,077</u>	<u>4,541,268</u>
少数株主に係る包括利益	△0	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自平成25年3月1日至平成26年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式			株主資本合計
				自己株式	自己株式 (従持信託所 有分)	自己株式 合計	
当期首残高	2,486,520	18,300,303	21,891,593	△1,463,511	△207,422	△1,670,933	41,007,484
当期変動額							
剰余金の配当			△682,132				△682,132
当期純利益			3,183,974				3,183,974
連結子会社の変動に伴う利益剰余金の増加			2,002				2,002
自己株式の取得				△554		△554	△554
自己株式の処分		21,800		108,148		108,148	129,949
土地再評価差額金の取崩			△31,036				△31,036
自己株式の従持信託からの売却					59,250	59,250	59,250
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	21,800	2,472,808	107,594	59,250	166,844	2,661,453
当期末残高	2,486,520	18,322,104	24,364,402	△1,355,917	△148,172	△1,504,089	43,668,937

	その他の包括利益累計額						新株 予約権	少数株 主持分	純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額 金	繰延 ヘッジ損 益	土地再評 価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合 計			
当期首残高	352,470	16,070	△264,512	△25,239	—	78,789	19,195	1,171	41,106,639
当期変動額									
剰余金の配当									△682,132
当期純利益									3,183,974
連結子会社の変動に伴う利益剰余金の増加									2,002
自己株式の取得									△554
自己株式の処分									129,949
土地再評価差額金の取崩			31,036			31,036			—
自己株式の従持信託からの売却									59,250
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	296,511	△26,485	—	68,077	—	338,103	226	△1,171	337,158
当期変動額合計	296,511	△26,485	31,036	68,077	—	369,139	226	△1,171	3,029,648
当期末残高	648,981	△10,415	△233,476	42,838	—	447,928	19,421	—	44,136,288

当連結会計年度(自平成26年3月1日至平成27年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本						株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式			
				自己株式	自己株式 (従持信託所 有分)	自己株式 合計	
当期首残高	2,486,520	18,322,104	24,364,402	△1,355,917	△148,172	△1,504,089	43,668,937
当期変動額							
剰余金の配当			△957,168				△957,168
当期純利益			3,642,528				3,642,528
自己株式の取得				△2,083,827		△2,083,827	△2,083,827
自己株式の処分		12,395		56,599		56,599	68,995
持分法適用会社から の自己株式取得による 変動額		△107,794					△107,794
持分法適用会社に 対する持分変動に伴う 自己株式の増減				197,652		197,652	197,652
自己株式の 従持信託からの売却					48,822	48,822	48,822
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	△95,398	2,685,359	△1,829,574	48,822	△1,780,752	809,207
当期末残高	2,486,520	18,226,705	27,049,761	△3,185,492	△99,350	△3,284,842	44,478,145

	その他の包括利益累計額						新株 予約権	純資産 合計
	その他 有価証券評価 差額金	繰延 ヘッジ損益	土地再評 価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整累 計額	その他の 包括利益累計 額合計		
当期首残高	648,981	△10,415	△233,476	42,838	—	447,928	19,421	44,136,288
当期変動額								
剰余金の配当								△957,168
当期純利益								3,642,528
自己株式の取得								△2,083,827
自己株式の処分								68,995
持分法適用会社から の自己株式取得による 変動額								△107,794
持分法適用会社に 対する持分変動に伴う 自己株式の増減								197,652
自己株式の 従持信託からの売却								48,822
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	832,769	23,754	—	42,216	△37,476	861,263	23,889	885,153
当期変動額合計	832,769	23,754	—	42,216	△37,476	861,263	23,889	1,694,360
当期末残高	1,481,751	13,339	△233,476	85,054	△37,476	1,309,192	43,311	45,830,648



## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,435,236	6,017,250
減価償却費	1,026,676	1,135,407
減損損失	239,675	291,939
のれん償却額	520,643	496,504
貸倒引当金の増減額(△は減少)	679	△460,675
賞与引当金の増減額(△は減少)	△127,350	△70,041
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△83,629	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	1,502,819
その他の引当金の増減額(△は減少)	△56,074	43,264
受取利息及び受取配当金	△81,416	△89,091
支払利息	2,826	1,714
持分法による投資損益(△は益)	△497,201	△493,479
為替差損益(△は益)	△4,355	△2,022
固定資産売却損益(△は益)	△12,163	△39,657
投資不動産売却損益(△は益)	△21,974	—
関係会社株式清算損益(△は益)	—	△104,118
売上債権の増減額(△は増加)	201,159	△497,679
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,457,010	△741,862
仕入債務の増減額(△は減少)	705,260	△348,193
未払消費税等の増減額(△は減少)	52,295	344,900
前受金の増減額(△は減少)	500,753	△151,839
その他の資産の増減額(△は増加)	150,267	△69,996
その他の負債の増減額(△は減少)	△58,569	△387,319
小計	6,435,728	6,377,821
利息及び配当金の受取額	190,181	204,415
利息の支払額	△2,799	△1,714
法人税等の支払額	△1,437,902	△2,250,920
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,185,207	4,329,603

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,048,529	△1,590,069
有形固定資産の売却による収入	128,560	62,000
無形固定資産の取得による支出	△19,089	△53,944
有価証券の取得による支出	△1,400,000	△500,000
有価証券の償還による収入	—	1,900,000
投資有価証券の取得による支出	△17,077	△1,216,996
投資不動産の売却による収入	63,361	—
長期貸付けによる支出	△9,753	△7,774
長期貸付金の回収による収入	15,459	8,083
長期前払費用の取得による支出	△70,773	△46,044
関係会社株式の清算による収入	—	104,118
その他の支出	△388,201	△241,595
その他の収入	356,743	397,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,389,299	△1,184,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△92,230	△102,620
自己株式の取得による支出	△554	△2,083,827
自己株式の売却による収入	114,975	62,985
配当金の支払額	△687,001	△957,168
その他の支出	△159,113	△217,816
財務活動によるキャッシュ・フロー	△823,924	△3,298,446
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,662	13,114
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,981,646	△140,482
現金及び現金同等物の期首残高	2,111,769	4,093,415
現金及び現金同等物の期末残高	4,093,415	3,952,933

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

## 退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を当連結会計年度末より適用し(ただし、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めを除く。)、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る資産及び退職給付に係る負債として計上する方法に変更し、未認識数理計算上の差異を退職給付に係る資産及び退職給付に係る負債に計上しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度末において、当該変更に伴う影響額をその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に加減しております。

この結果、当連結会計年度末において、退職給付に係る資産が614,916千円、退職給付に係る負債が614,881千円計上されるとともにその他の包括利益累計額が37,476千円減少しております。

なお、1株当たり純資産額に与える影響は軽微であります。

## (セグメント情報等)

## (セグメント情報等)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、(株)エフ・ディ・シー・プロダクツ、(株)アスティ、(株)三鈴及び(株)アージュの4事業会社を軸とする総合ファッション企業として事業活動を展開しております。

当社グループは連結子会社を基礎とした事業別セグメントから構成されており、「エフ・ディ・シー・プロダクツグループ」、「アスティグループ」、「三鈴」及び「アージュ」の4事業を報告セグメントとしております。

「エフ・ディ・シー・プロダクツグループ」では、「4℃」ジュエリーを中心としたブランドSPA事業を行っております。

「アスティグループ」では、主にODMを中心としたアパレルメーカー事業、ホールセール事業及びディベロッパー事業を行っております。

「三鈴」では、アパレルSPA事業を行っております。

「アージュ」では、西日本を中心としてファッション分野でリテール事業を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自平成25年3月1日至平成26年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	エフ・ディ・シー・ プロダクツグループ	アステイ グループ	三鈴	アージュ	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	26,277,261	9,107,549	5,881,097	7,737,277	49,003,184	—	49,003,184
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	43,084	1,445,808	24,225	240,299	1,753,417	△1,753,417	—
計	26,320,345	10,553,357	5,905,322	7,977,577	50,756,602	△1,753,417	49,003,184
セグメント利益 又は損失(△)	4,374,877	557,846	△69,225	160,497	5,023,995	△117,910	4,906,084
セグメント資産	25,170,216	18,988,089	2,267,796	2,561,697	48,987,799	<u>9,490,762</u>	<u>58,478,562</u>
その他の項目							
減価償却費	544,470	245,310	146,572	57,963	994,315	26,256	1,020,572
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	821,790	130,960	160,951	22,283	1,135,986	795	1,136,781

(注)1 (1) セグメント利益の調整額△117,910千円には、のれん償却額△520,643千円、報告セグメントに帰属しない一般管理費△589,094千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額9,490,762千円のうち、その主なものは、全社資産5,774,496千円及びのれんの未償却残高6,206,310千円であります。なお、主に余資運用資金(現金及び預金)等の資産であります。

(3) 減価償却費の調整額26,256千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額795千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自平成26年3月1日至平成27年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	エフ・ディ・シー・ プロダクツグループ	アステイ グループ	三鈴	アージュ	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	28,537,113	8,787,244	5,344,775	8,057,133	50,726,266	—	50,726,266
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	50,330	1,657,587	20,521	285,728	2,014,167	△2,014,167	—
計	28,587,444	10,444,831	5,365,296	8,342,861	52,740,434	△2,014,167	50,726,266
セグメント利益	4,980,999	422,436	14,059	86,150	5,503,646	△35,744	5,467,901
セグメント資産	27,873,136	20,132,567	2,228,395	2,505,023	52,739,123	<u>8,251,215</u>	<u>60,990,338</u>
その他の項目							
減価償却費	651,483	249,692	119,285	81,056	1,101,518	27,828	1,129,346
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,209,843	415,061	26,390	24,966	1,676,261	—	1,676,261

(注)1 (1) セグメント利益の調整額△35,744千円には、のれん償却額△496,504千円、報告セグメントに帰属しない一般管理費△598,882千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額8,251,215千円のうち、その主なものは、全社資産4,357,769千円及びのれんの未償却残高5,709,806千円であります。なお、主に余資運用資金(現金及び預金)等の資産であります。

(3) 減価償却費の調整額27,828千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(関連情報)

前連結会計年度(自平成25年3月1日至平成26年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への営業収益が連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略していません。

当連結会計年度(自平成26年3月1日至平成27年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への営業収益が連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略していません。

## (報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自平成25年3月1日至平成26年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	合計
	エフ・ディ・シー・プロダクツグループ	アスティグループ	三鈴	アージュ	計		
減損損失	115,048	9,809	69,301	45,516	239,675	-	239,675

当連結会計年度(自平成26年3月1日至平成27年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	合計
	エフ・ディ・シー・プロダクツグループ	アスティグループ	三鈴	アージュ	計		
減損損失	236,048	6,453	42,498	6,939	291,939	-	291,939

## (報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自平成25年3月1日至平成26年2月28日)

報告セグメントに配分されたのれんの償却額及び未償却残高はありません。報告セグメントに配分されていないのれんの償却額は、520,643千円、未償却残高は6,206,310千円であります。当該償却額及び未償却残高は、株式交換により生じたのれんに係るものであります。

当連結会計年度(自平成26年3月1日至平成27年2月28日)

報告セグメントに配分されたのれんの償却額及び未償却残高はありません。報告セグメントに配分されていないのれんの償却額は、496,504千円、未償却残高は5,709,806千円であります。当該償却額及び未償却残高は、株式交換により生じたのれんに係るものであります。

## (報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自平成25年3月1日至平成26年2月28日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自平成26年3月1日至平成27年2月28日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)
1株当たり純資産額	1,609.45円	1,722.67円
1株当たり当期純利益金額	116.40円	134.99円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	116.24円	134.78円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	3,183,974	3,642,528
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	3,183,974	3,642,528
普通株式の期中平均株式数(株)	27,353,992	26,982,906
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	38,012	42,236
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	平成25年6月12日 取締役会決議 第5回新株予約権 普通株式 118,400株	平成25年7月24日 取締役会決議 第6回新株予約権 普通株式 36,700株 平成26年7月24日 取締役会決議 第7回新株予約権 普通株式 24,800株

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当連結会計年度 (平成27年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	44,136,288	45,830,648
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	19,421	43,311
(うち新株予約権(千円))	(19,421)	(43,311)
(うち少数株主持分(千円))	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	44,116,866	45,787,337
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	27,411,068	26,579,278

4 従持信託が所有する当社株式については、連結財務諸表において自己株式として認識しております。このため、上記の1株当たり純資産額の算定に用いられた連結会計年度末の普通株式数及び1株当たり当期純利益金額の算定に用いられた連結会計年度の期中平均株式数は、当該株式が控除されております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表  
 (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当事業年度 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	234,823	1,539,159
有価証券	4,850,000	2,000,000
繰延税金資産	13,530	14,493
関係会社短期貸付金	1,336,672	1,024,870
未収入金	109,057	145,840
その他	6,484	7,541
流動資産合計	6,550,568	4,731,905
固定資産		
有形固定資産		
建物	681	567
工具、器具及び備品	619	368
リース資産	3,600	900
有形固定資産合計	4,901	1,836
無形固定資産		
ソフトウェア	190	114
リース資産	75,032	50,344
無形固定資産合計	75,222	50,458
投資その他の資産		
投資有価証券	655,382	1,856,518
関係会社株式	29,204,180	29,204,180
関係会社出資金	172,716	75,190
関係会社長期貸付金	81,520	166,964
従業員に対する長期貸付金	—	694
繰延税金資産	29,629	70,250
その他	16,433	5,876
投資その他の資産合計	30,159,861	31,379,674
固定資産合計	30,239,984	31,431,968
資産合計	36,790,553	36,163,873



(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当事業年度 (平成27年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	11,950,438	13,132,793
1年内返済予定の長期借入金	—	48,310
リース債務	28,791	27,093
未払金	36,344	70,732
未払費用	11,270	9,193
未払法人税等	46,601	60,165
賞与引当金	13,670	11,900
役員賞与引当金	13,150	14,500
その他	8,970	35,270
流動負債合計	12,109,237	13,409,957
固定負債		
長期借入金	150,930	—
リース債務	54,359	27,265
退職給付引当金	3,155	3,329
役員退職慰労引当金	80,100	97,400
固定負債合計	288,544	127,994
負債合計	12,397,781	13,537,952
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,486,520	2,486,520
資本剰余金		
資本準備金	14,838,777	14,838,777
その他資本剰余金	21,800	34,196
資本剰余金合計	14,860,578	14,872,973
利益剰余金		
利益準備金	417,300	417,300
その他利益剰余金		
別途積立金	6,794,500	6,794,500
繰越利益剰余金	511,563	686,102
利益剰余金合計	7,723,363	7,897,902
自己株式	△697,210	△2,675,616
株主資本合計	24,373,251	22,581,780
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	98	829
評価・換算差額等合計	98	829
新株予約権	19,421	43,311
純資産合計	24,392,771	22,625,921
負債純資産合計	36,790,553	36,163,873

## (2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	当事業年度 (自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)
営業収益	1,651,880	1,990,125
営業総利益	1,651,880	1,990,125
販売費及び一般管理費	562,926	561,728
営業利益	1,088,954	1,428,396
営業外収益		
受取利息	15,255	19,431
受取配当金	56	74
為替差益	7,264	15,112
未払配当金除斥益	1,734	1,632
その他	385	608
営業外収益合計	24,695	36,858
営業外費用		
支払利息	42,290	48,688
自己株式取得費用	—	35,364
その他	231	—
営業外費用合計	42,521	84,052
経常利益	1,071,127	1,381,202
特別損失		
関係会社出資金評価損	—	97,525
特別損失合計	—	97,525
税引前当期純利益	1,071,127	1,283,677
法人税、住民税及び事業税	153,400	193,957
法人税等調整額	11,389	△41,988
法人税等合計	164,790	151,969
当期純利益	906,337	1,131,708

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,486,520	14,838,777	—	14,838,777	417,300	6,794,500	287,358	7,499,158
当期変動額								
剰余金の配当							△682,132	△682,132
当期純利益							906,337	906,337
自己株式の取得								
自己株式の処分			21,800	21,800				
自己株式の従持信託からの売却								
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	21,800	21,800	—	—	224,204	224,204
当期末残高	2,486,520	14,838,777	21,800	14,860,578	417,300	6,794,500	511,563	7,723,363

	株主資本				評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式			株主資本 合計	その他 有価証券評 価差額金	評価・換算 差額等合計		
	自己株式	自己株式 (従持信託 所有分)	自己株式 合計					
当期首残高	△656,644	△207,422	△864,066	23,960,389	△218	△218	19,195	23,979,365
当期変動額								
剰余金の配当				△682,132				△682,132
当期純利益				906,337				906,337
自己株式の取得	△554		△554	△554				△554
自己株式の処分	108,160		108,160	129,961				129,961
自己株式の従持信託からの売却		59,250	59,250	59,250				59,250
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					317	317	226	544
当期変動額合計	107,605	59,250	166,855	412,861	317	317	226	413,405
当期末残高	△549,038	△148,172	△697,210	24,373,251	98	98	19,421	24,392,771

当事業年度(自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,486,520	14,838,777	21,800	14,860,578	417,300	6,794,500	511,563	7,723,363
当期変動額								
剰余金の配当							△957,168	△957,168
当期純利益							1,131,708	1,131,708
自己株式の取得								
自己株式の処分			12,395	12,395				
自己株式の 従持信託からの売却								
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	12,395	12,395	—	—	174,539	174,539
当期末残高	2,486,520	14,838,777	34,196	14,872,973	417,300	6,794,500	686,102	7,897,902

	株主資本				評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式			株主資本 合計	その他 有価証券評 価差額金	評価・換算 差額等合計		
	自己株式	自己株式 (従持信託 所有分)	自己株式 合計					
当期首残高	△549,038	△148,172	△697,210	24,373,251	98	98	19,421	24,392,771
当期変動額								
剰余金の配当				△957,168				△957,168
当期純利益				1,131,708				1,131,708
自己株式の取得	△2,083,827		△2,083,827	△2,083,827				△2,083,827
自己株式の処分	56,599		56,599	68,995				68,995
自己株式の 従持信託からの売却		48,822	48,822	48,822				48,822
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					731	731	23,889	24,620
当期変動額合計	△2,027,227	48,822	△1,978,405	△1,791,470	731	731	23,889	△1,766,849
当期末残高	△2,576,265	△99,350	△2,675,616	22,581,780	829	829	43,311	22,625,921

5. その他

(1) 役員の変動

①代表者の変動

該当事項はありません

②監査等委員会設置会社への移行に伴う役員の変動

当社は、平成27年5月21日開催予定の第65回定時株主総会での定款一部変更の承認可決を前提として、監査等委員会設置会社に移行に伴う役員候補者の構成は以下のとおりとなる予定です。

・取締役(監査等委員であるものを除く。)候補者

木村 祭氏 (現 代表取締役会長)  
鈴木 秀典 (現 代表取締役社長)  
宮本 聡 (現 常務取締役執行役員アスティ担当)  
瀧口 昭弘 (現 常務取締役執行役員エフ・ディ・シー・プロダクツ担当)  
岩森 真彦 (現 常務取締役執行役員業務担当兼務経営企画部長)  
久留米 俊文 (現 取締役執行役員エフ・ディ・シー・プロダクツ担当営業部長)  
西村 政彦 (現 取締役執行役員財務担当兼務財務部長)  
細田 信行 (現 取締役相談役)

・監査等委員である取締役候補者

田坂 英二 (現 当社監査役)  
上村 信彦 (現 当社社外監査役)  
藤森 友明 (現 当社社外監査役)  
神垣 清水 (現 弁護士)

(注) 上村信彦、藤森友明、神垣清水の3氏は社外取締役候補であります。